

一生懸命がかっこいい！

港区立御成門学園御成門中学校
第9学年No. 14
令和8年9月18日



〈学習発表会に向けて〉



10月17日（土）の学習発表会に向けて、夏休み前から海外修学旅行事後学習の発表準備を進め、代表の班を決定するためにクラスと学年で発表会を行いました。中学校の集大成の発表ということもあり、スライドの出来栄え、発表の仕方など、生徒たちの成長を感じました。今後は、発表原稿やスライドを修正し、リハーサルなどを進め、本番に向けて完成度を高めていきます。当日、代表生徒たちが3年間の学びを自分の言葉で表現する姿を、ぜひ楽しみにしてください。



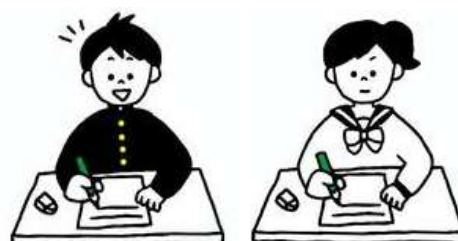
〈生徒会役員選挙〉

9月10日（木）、生徒会役員選挙が行われ、8年生を中心とした新しい生徒会役員が決定しました。9年生として、これから学校全体のリーダーシップを担う新しい役員を支えながら、引き続き協力をしていきましょう。



〈来週は2学期中間考査です〉

連休明け、24日（木）から2学期中間考査が始まります。学習計画表はすでに配布していますので、計画的に学習を進めましょう。高校入試にもつながる大切な時期です。最後までモチベーションを維持しながら、最高のコンディションで中間考査に臨めるよう、準備をしてください。



＜来週以降の予定＞

日付	予定	持ち物・提出物・注意事項
21日（月）	敬老の日	
22日（火）	国民の休日	
23日（水）	秋分の日	
24日（木）	中間考査1日目（国・理・英）	給食あり
25日（金）	中間考査2日目（社・数）	給食なし
26日（土）	土曜授業・学校説明会（午前）・ 身近な街のコンサート（午後）	給食あり
27日（日）		
28日（月）	振替休業日	
29日（火）	通常授業	
30日（水）	45分授業	
10月1日（木）	都民の日・休業日	
10月2日（金）	保護者進路説明会 生徒5時間授業	進路説明会：14：40開始

＜学年朝礼でのスピーチ紹介＞

9月3日（木）の学年朝礼でのスピーチです。

1組

長かった夏休みが終わり、今日から新学期が始まりました。皆さんは、どのような夏休みを過ごしましたか。実は、私は7月の終わりに、とても素晴らしい夏休みの計画を立てました。「毎日早く起きて勉強する」「本を10冊読む」「部屋の掃除を毎日する」など、たくさんの理想がありました。しかし、現実とは全然違いました。朝は眠くて起きられず、勉強を始めようと思っても、すぐにスマホを見てしまいました。気がつくと、夏休みはあっという間に終わってしまいました。「もっと頑張ればよかった」と、少し後悔している人も、この中にたくさんいるのではないのでしょうか。

でも、終わったことをずっと考えても始まりません。今日からは、新しいスタートです。私は、日本に来てまだ間もないです。日本語もまだ完璧ではありませんし、学校の文化や勉強で、分からないこともたくさんありますが、この学校に来て、毎日一生懸命頑張っている皆さんの姿を見て、いつもたくさんのパワーをもらっています。私たちは、中学3年生です。これから受験や卒業など、大切なイベントがたくさん待っています。時には不安になったり、逃げたくなったりすることもあると思います。だからこそ、この学年のみんなで支え合って、一緒に乗り越えていきたいです。夏休みの失敗は、今日で終わりにしましょう。今日からまた気持ちを切り替えて、次の目標に向かって、一緒に勉強も学校生活も頑張しましょう！

3組

みなさんは、この夏休み、計画を立てて受験勉強ができましたか。私も、この夏は自分なりに必死に机に向かいました。でも、模試の結果が思うように伸びなかったり、解けない問題ばかりで焦ったりしながら、ノートに消し後が残る姿を見て落ち込む毎日でした。

そんな時、ふと「昔の人ってどうやって文字を消していたのだろう」と気になって調べてみたら、面白い事実を見つけました。今から250年ほど前のヨーロッパでは、消しゴムがなかったので、細かくちぎった『食パン』を使って鉛筆の文字を消していたそうです。勉強中にお腹が減ったら、ちょうどいいおやつになりそうですし、何より消した内容が頭に入ってくるそうですよね。でも残念ながら、文字を消したパンは真っ黒に汚れてしまうので、実際は食べられなかったそうです。今の私たちは、消しゴムのおかげでいくらでも間違えることができますし、パンを無駄にすることがありません。もしかしたら、間違えた問題とかをパンで消して食べれば、その内容が頭に入るかもしれませんが、そんな都合の良い魔法のパンはやっぱりどこを探しても見つからないようです。でも、魔法のパンがなくてもノートを真っ黒にした後の消し跡を見て、自分の弱点に気づければ、確実に成長できると思います。

大口を叩くような自信はまだありませんが、これからも失敗を恐れず、ノートを真っ黒にしながら、いつか本当に食べられる魔法のパンができるのを信じて、今は目の前の消しゴムをすり減らしていきたいです。

3組

今日は分業について話したいと思います。実際には、世界中に分業をする所はたくさんあります。例えば、この鉛筆の柄は杉からできました。この杉を伐採することはある人ができて、また伐採した杉を輸送することも何人かが必要で、工場でこの杉から加工をするのもまた何人かが必要になっています。この鉛筆の芯はブラジルなどの国のグラファイトからできました。グラファイトを何人かによって採掘し、また焼成しなければなりません。この鉛筆の他の部品もこのようになっています。原料は世界の各地にあって、また加工や輸送をしないと行けません。

そして、鉛筆だけでなく、消しゴムも、タブレットも、飛行機も、このように何万人以上の分業によってできたものです。分業をする人たちはお互いに全くわからないかもしれませんが、しかし、この人たちは自分の生活のために仕事をして、世界中の人に便利を与え、さらに社会の繁栄を促進しました。経済学者アダム・スミスも「国富論」で分業について述べました。「労働の生産性が飛躍的に向上してきたのは分業の結果だし、各分野の労働で使われる技能や技術もかなりの部分、分業の結果から得たものだと思える。」と書きました。したがって、分業を無くしてはいけないうし、私たちの生活のとても大切な部分だと思いました。

9月10日（木）の学年朝礼でのスピーチです。

1組

皆さんは、音楽の神様と呼ばれていた人を知っていますか。私達が今、多様な音楽を自由に聴けているのは、世界を変えたスーパースターである彼のおかげだと思います。彼は、10歳で兄弟とデビューし、ソロ活動では、「世界の常識」を変え、人類史上最も売れたアルバムを出しました。彼は、音楽の力で人種差別の厚い壁を打ち破りました。当時、黒人アーティストの映像はテレビで流せないという、差別がありましたが、彼のヒットがその常識を覆し、人種の境界線を無くしました。肌の色関係なく人々の心を一つにし、今私たちは多様な音楽を聴けているのです。亡くなった今もなお、時代を超えて年齢関係なく、世界共通に多くの人の心を惹きつけています。自分の実力に全てをそそぐ彼に、皆さんも自分の目標に向かって最後まで努力し続ける強さを持ってみてはどうでしょうか。

1組

最近、線状降水帯という言葉を目にする事が多くなったと思います。そこで、今回は線状降水帯について発表したいと思います。線状降水帯とは次々に積乱雲が列をなし、停滞したり通過したりして強い雨を長く降らせる現象です。幅が約20～50km、長さが約50～300kmにもおよびます。よく、ゲリラ豪雨と勘違いされやすいですがゲリラ豪雨とは別の現象です。線状降水帯は熱く、湿った空気だと発生しやすく、予想が難し

いことが特徴で、天気予報とは異なった天気になることがよくあります。だから、この時期は折りたたみ傘を常に持っておくことをおすすめします。

2組

皆さんは夏休み何をしましたか。私は漫画映画を見たので発表したいと思います。

まず、この漫画の世界観は、一見可愛いキャラのほのぼのした日常だと思えますよね。でも、その世界は命がけの「討伐」や資格試験などの「過酷な労働」が同居する独特な世界です。怪物との戦いや現実的な格差、謎の食べ物湧き地帯など、不穏なディストピア感がある世界です。物語は、ある日主人公たちが「怪物を倒したらたくさん報酬がもらえる」というチラシを見て、島へ行くところから始まります。島についた時に歓迎ムードで流れる歌があり、その歌の歌詞は、「美味しい屋台がてんこ盛り、わたあめ、ビール、じゃがバター、たこ焼き、すき焼き、ケバブ、てりてりソースの焼きそば」と、一見島の屋台の愉快的仲間たちの歌のようですが、縦に並べると、あるメッセージになります。その後、そこで出会った強い怪物は、島の住民を襲っていました。でも、お話が進むにつれて、強い怪物が怒っているのには理由があると分かります。なんと、強い怪物の大切な仲間である人魚が3匹から2匹になっていたのです。人魚を食べると不老不死になれるという伝説があり、そこから島の人たちが人魚を食べてしまったのだとわかり、そこから不穏になります。あるシーンで、主人公は犯人が誰だと察しますが、それをみんなに言おうか、言わないでおうか、悩みます。

ここで皆さんに問います。仮に何かしらの事件に巻き込まれ、その事件の犯人に気づき始めたけど、その犯人にも何かしらの事情があったりして、皆さんは他の人にいいますか。実はこの映画は「だれが100%悪くて、だれが100%正しい」とは言えない物語です。島の人たちも、強い怪物も、みんなそれぞれ「大切なものを守りたい」という気持ちで動いていたからです。

この映画を見て、友達と意見がぶつかったり、誰かが怒っていたりするとき、表面だけで判断するのではなく、「どうしてそうなったのかな」と、相手の理由や背景をきちんと巻き戻して考えられる人間になりたいと思いました。映画の主人公のように、現実から目を背けずに、日常を大切に生きていこうと思います。

3組

今日は挨拶について、私が最近気づいたことについてお話ししていきます。

先日、廊下で先生に挨拶をしたのですが、声が小さすぎたのか気づいてもらえませんでした。その時、挨拶って、相手に聞こえていないと、してないのと同じなのだなと気づきました。挨拶は、言った側でなく、言われた側が気づいて初めて成立するものです。下を向いたままの挨拶や、小さな声では、せっかくの気持ちが相手に届きません。

挨拶をするなら、相手にちゃんと届くように、いつもより少しだけ声を大きくするか、相手の目を見て言ってみてはいかがでしょうか？今日一日お互いに気持ちのいい挨拶を、届けられるようにしていきましょう。

